

障がい者自立支援法から障がい者総合支援法へ

4月1日から法律が変わりました。今まで私たちが遵守しなくてはならなかった自立支援法が総合支援法と名称も新しくなりました。今までの知的、精神、身体の障害区分に新たに難病等の方々が加わります。およそ130種の難病と言われる疾患にも対応することとなったわけです。今回加わった対象者は身体障がい者手帳の所持の有無に関わらず、必要と認められた障がい福祉サービスの受給が可能となりました。もっと詳しく知りたい方は厚生労働省のホームページを参照してみてください。



主な取り組み①某大手アパートメーカーに営業してまいりました。

私たちは常日頃、利用者に安定した仕事を提供して1円でも高い給料が支給できることを考えておりますが、なかなか安定して仕事を探してくるのは難しいことです。そこで今回、某大手アパートメーカーの本社に出向き「アパートの巡回清掃を障がい者施設で行うことによりコスト削減」をうたい文句に営業をして参りました。早速トップダウンにより次回、担当部署との打ち合わせまでこぎ着けることができました。今回の大手アパートメーカーにはアパートの巡回清掃だけではなく入居促進の為に障がい者を対象としたサービスを提供するとか国内ホテルのベッドメイキングやお部屋の清掃作業など障がい者にも出来る仕事はまだまだ詰まっております。私たち施設が介入することで人件費削減やコスト削減につながればもっと企業が元気になると思われますので更なる安定した仕事探しに積極的にアピールしてまいります。

主な取り組み②大手コンビニチェーンへの提案



全国で何らかの障がいを持っている方はおよそ700万人います。この中で定職についている方は極わずかです。こうなると親が他界した後の支援の問題や生活など心配が絶えなくなってきます。そこで私たちは障がい者に少しでも多くの仕事の場を定着させようとコンビニエンスストアが就労支援施設だったら、より身近に多くの職場があると考え某大手コンビニチェーン会社と接触いたしました。障がい者にとってコンビニには品出しや清掃や接客と小さいスペースに多くの職種が紛れていることから障がい種別によって、より適合した職がオーダーメイド的に提供できること、またオーナー側はコンビニ売上収益と国からの報酬とのダブル収益の魅力を進言させていただきました。課題は持ち帰っていただきましたが企業もCSR活動の一環として取り上げていただきたいと願っております。また展開があればご報告させていただきます。

報告とお知らせ

○県内A型就労支援施設の賃金比較

県平均月度賃金58,189円 弊社3月度実績 94,321円

○作業確保活動

農産物種まき作業(ジャガイモ)500㎡分 ・ 大手メーカーアパート巡回清掃
一般住宅畳替え作業 ・ 新商品景品内職下請け(販売前なので商品公表できず内緒)

4月14日小山市犬塚さくら祭り

4月21日宇都宮ユニオン通りフリーマーケット(来場者7000人)

○寄付金 基金募集

1口100,000円から募集を行っております。

今後の活動費や施設整備に役立たせていただきます。

障がい者の取り巻く環境や今後の取り組みに賛同される方々のご協力とご支援をお待ちしております。